

域内横断的な取組

三重県

滋賀県

京都府

大阪府

兵庫県

奈良県

和歌山県

三重県

産学官連携によるデジタル人材育成

教員研修の充実①（実施要領2.（1）関連）

教員が最新技術を適切に指導できる力を養う

- ・ 大学・企業と連携した教員研修
- ・ 県外への先進地視察
- ・ 研究協議会（指導法共有）
- ・ 多面的評価手法の研修



DX教育の普及②（実施要領2.（2）関連）

教員の指導スキル向上につなげる

- ・ 採択校の授業・カリキュラム事例発表
- ・ 他校展開を促す好事例の共有
- ・ 公開授業を実施
- ・ 大学教員や企業の専門家を交えた課題解決協議の実施



高校生向け研修会③（実施要領2.（3）関連）

生徒のデジタル技術活用能力や課題解決力を養う

大学や企業と連携した実践的な講座の開催

- ・ 「未来のスペシャリスト育成講座」の実施
- ・ 「データアナリスト入門講座」の実施
- ・ STEAM学習の推進
- ・ 県外への先進地視察

その他、プログラミング・ロボティクス等の課外活動や推進地域企業と連携したフィールドワークを実施



成果発表④（実施要領2.（4）関連）

探究的な学びを深め、論理的思考力や表現力を養う

生徒が取り組んだ研究や総合的な探究の時間等に係る成果発表会を開催

- ・ 「国際情報オリンピックへの出場に向けた強化講座」
- ・ 「探究フォーラム」の開催
- ・ 「高校生ロボコン競技大会」の開催
- ・ 成果発表会の開催



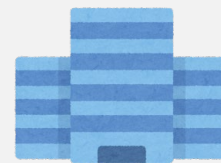
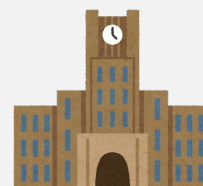
取組の進捗管理と支援⑤

（実施要領2.（5）関連）

産学官連携⑥

（実施要領2.（6）関連）

- ・ 生成AIの導入を想定した取組を共有
- ・ 大学・企業専門家の指導・助言
- ・ 定期的なモニタリングとフィードバック
- ・ 情報共有促進のためのコンソーシアムを結成
- ・ 大学やIT企業と協力したハッカソン実施



しが・次世代教育DXプロジェクト

教員対象

取組内容① (実施要領2. (1) 関連))

【内容】 デジタルスキルの向上を目的とした研修プログラム
【テーマ】

- ・ Python、JavaScriptを使ったプログラミング体験
- ・ ビッグデータ、生成AIを活用した社会課題解決の体験
- ・ デジタル倫理とプライバシー教育に関する講義
- ・ デジタルコンテンツ制作体験
- ・ IoT体験

【対象】 県内の希望する教員

【形式】 オンライン

【講師】 大学・企業関係者等

【時期】 平日夕方、長期休み等



高校生対象

取組内容③ (実施要領2. (3) 関連))

【内容】 デジタル等を活用した身近な課題の解決への取組
【テーマ】

- ・ IoT体験
- ・ 課題解決プロセス学習 (論理的思考、プログラミング思考)
- ・ Python、JavaScriptを使ったプログラミング体験
- ・ ビッグデータ、生成AIを活用した社会課題解決の体験
- ・ デジタルコンテンツ基礎学習

【対象】 県内の希望する生徒

【形式】 オンライン／対面

【講師】 大学・企業関係者等

【時期】 平日夕方、長期休み等



取組内容② (実施要領2. (2) 関連))

教員による取組事例報告会

各校におけるDXハイスクールの取組事例について報告会を実施。採択校における成果の共有により普及を図る。教員の資質・能力向上のため、有識者等による指導・助言を受ける。

【対象】 採択校の教員

【形式】 対面／オンライン

【時期】 1月頃

事例共有

取組内容④ (実施要領2. (4) 関連))

高校生による取組成果発表会

高校生による【しが】学びの祭典(アントレプレナーシップ成果発表会・探究的な学習発表会)とともに、DXハイスクール事業の取組成果発表会を開催する。

【対象】 採択校の生徒

【形式】 ポスター発表、体験会等

【時期】 12月末

学びの共有

指導・助言

取組内容⑤ (実施要領2. (5) 関連))

採択校への指導・助言

採択校の現状を把握し、取組の進捗に合わせた指導・助言を行う。

- ・ 県主催のオンラインミーティング (オンライン 7月実施)
- ・ 学校訪問時における聴き取り (対面 5月・10月)
- ・ 中間報告書等の提出 (10月)

教育委員会

京都府

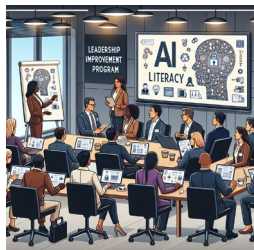
世界をリードするデジタル人材育成のための多角的な支援
「生徒と教員双方のデジタル技術活用の深化を目指す」

AIリテラシー向上による指導力向上プログラムの実施（実施要領2.（1）関連）

【目的】 生成AIの活用に重点を置いた研修により、教員自身の校務改善力、情報Ⅱ等の指導力の獲得を目指す

【内容】

- ・生成AI活用の基礎学習、校務改善等に資する集合型ワークショップを実施
- ・スキルをもつメンターの指導と他教員からのフィードバック等を通じて、生成AIの校務での活用可能性を体感するとともに、プロダクト開発を学び、授業を受ける生徒の視点と指導力を養う



プロダクト開発体験によるIT・プログラミングキャンプの実施（実施要領2.（3）関連）

【目的】 企業連携によるプロダクト開発により生徒がデジタル技術を実際に活用する経験を積みつつ、当該分野に対する興味・関心を高める

【内容】

- ・プログラミングの基礎からオリジナルのアプリ、3Dゲーム、Webサービス等の制作を体験
- ・南北2会場で、対面で実施し、オンラインでつなぎ、相互に交流
- ・実際に制作を通して学ぶことで他の参加者の作品や開発工程から深い学びを得るとともに、当該分野に対する興味関心を醸成



デジタル技術の活用を基盤とした
新たな価値の創造

充実を図る「京都DXハイスクール実践発表会」の実施（実施要領2.（2）関連）

【目的】 DXハイスクールの実践事例の発表により、各校の成果や課題を共有し、京都府内全体のデジタル人材育成の充実を図る

【内容】

- ・採択校対象の京都DXハイスクール実践発表会を実施
- ・大学教員等の専門人材を交えて、各校の実践事例を共有し、成果の充実を図る



相互に学び合う「京都AI未来創造コンテスト」の実施（実施要領2.（4）関連）

【目的】 取組の成果発表により、生徒同士で相互に学びあう機会を提供し、深い学びと新たな発見につなげる

【内容】

- ・生徒が学んだ成果を発表する「京都AI未来創造コンテスト」を実施
- ・書類審査の上、優秀な取組においては、オンラインで優秀校発表会を実施し、相互に学びあう機会を提供



目的



デジタルマーケティングの重要性がますます高まる中、「SNS等を中心とした多様なコミュニケーションツールの活用能力」や「デジタルデータ等の分析スキル」を中心としたITスキルを身につけることで、次世代を担う地域IT人材の育成につなげる。

実施内容

デジタルマーケティング等を業務とする民間企業へ事業委託を行い、本分野における専門人材等のノウハウを活かした、実務を中心とした体験学習の場を創出する。

対 象：参加を希望する府立高校生（参加予定人数：30名程度）

デジタルマーケティング基礎講習



実務経験者等を講師として、デジタルマーケティングを行う上で必要となるスキルの取得や情報モラルの育成を目的とした基礎研修を実施する。（回数：10回程度（オンデマンド研修等を含む））

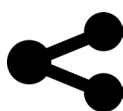
内容（予定）：DXリテラシー（データ活用・AI活用基本スキル）・マーケティング講座（WEB・SNSマーケティング）・クリエイティブ制作（撮影・編集）

マーケティング実務研修



委託事業者監修のもと、「調査」「取材」「発信」「効果測定」「改善策や新たな施策の提案」など、民間企業等が実際に行っているデジタルマーケティング業務を高校生が主体的に体験することで、実践力のある人材育成をめざす。

テーマ（予定）：府立高校の魅力発信



高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金（高等学校DX加速化推進事業）実施要領

2. 取組の内容（3）域内の高等学校等の在籍生徒を対象に学習段階に応じ、生徒の興味関心を引き出す大学や企業等と連携した実践型のデジタル人材育成講座、デジタルを活用した課外活動等の実施

教育DX推進室の設置

全ての県立学校において、授業、生徒指導、校務など、
学校教育のあらゆる場面でICT活用を推進する
各取組の実施、発表会・研修会の開催・運営、遠隔授業の研究

取組内容①

(実施要領2.(1) (2) 関連)

教員対象研修・研究協議会

- ・教員対象の研修・研究協議会を実施
- ・大学教授等の講演や実践事例発表、協議や情報の提供



課題の共有
情報提供



取組内容②

(実施2.(3) (4) 関連)

成果発表会

- ・デジタル人材育成に資する探究的・実践的取組の成果発表会の開催
- ・採択校以外の参加生徒に共有、全県へ普



相互作用



域内の
デジタル人材育成

相互作用



取組内容③ (実施要領2.(5) 関連)

採択校への助言

各採択校へDXアドバイザーを派遣し、現状把握と、学校ごとの実態に応じた助言



相互作用



取組内容④ (実施2.(6) 関連)

遠隔授業の推進

へき地や小規模校での生徒の多様な学びや進路を保障・支援するため、「遠隔授業配信センター」を設置し、情報Ⅱ等のデジタル分野育成に向けた科目の展開

取組内容①（実施要領2.（4）関連）

プログラミング等情報技術を活用した
課題解決に関するコンテスト

- ・域内の採択校在籍の高校生等を対象
- ・DXハイスクールの取組の成果を発表、優秀な取組を表彰
- 各県での優秀な取組を対象に全国規模でのコンテストを開催（文部科学省等）



【実施予定案】コンテスト実施委託費275万円

- ・地域課題解決アプリ開発コンテスト
→地元の社会課題（交通、観光振興、災害対策など）を解決するためのスマホアプリやWebサービスを開発するコンテスト
- ・環境保護のためのデータ分析コンテスト
→環境データ（気温、CO2排出量、廃棄物処理データなど）を分析し、環境保護や持続可能な社会に向けた提案を行うコンテスト
- ・AIを活用した課題解決コンテスト
→AIや機械学習を利用して、県内の教育、福祉、医療などの課題を解決するためのシステムやサービスを考案するコンテスト

取組内容②（実施要領2.（3）関連）

域内の希望する高校生等を対象とした
デジタル人材育成講座の開講

- ・域内の希望する高校生等を対象
- ・初級～上級の学習段階に応じた体験型のハンズオンセミナーの実施
（裾野拡大、高度な内容の習得）



【実施予定案】講座委託費330万円

- ・プログラミングの基礎講座（Python入門）
→Pythonを使ったプログラミングの基礎を学び、簡単なゲームやアプリの作成を通じてコーディングの楽しさを体験してもらう
- ・データサイエンス入門
→データの収集、分析、グラフ化を体験し、身近な問題をデータで解決する手法を学ぶ
- ・AIと機械学習の初歩
→AIの基本的な概念や機械学習の仕組みをわかりやすく解説し、簡単なAIモデルを作成して実践的に学ぶ
- ・IoT体験講座
→IoTの基礎を学び、身近な物をインターネットにつなげてデータを取得・制御する実験を行う

取組内容③（実施要領2.（1）関連）

情報Ⅱ等に関する教員向け研修

- ・域内の希望する高校等を対象
- ・DXハイスクール採択校の知見や大学・企業の外部人材等を活用した研修を実施



【実施予定案】教員研修実施委託費275万円

- ・ネットワークセキュリティの基礎
→情報セキュリティの基本概念と、生徒に教えるべき現代のセキュリティ脅威への対策方法を学ぶ
- ・デジタル倫理とプライバシー教育
→デジタル社会における倫理的問題やプライバシーの保護について、教員としての指導のあり方を考える
- ・ビッグデータと社会課題の関係性
→ビッグデータを活用して、社会的な問題を解決するための情報活用スキルの指導法を学ぶ

取組内容④（実施要領2.（2）関連）

DXハイスクール取組事例発表会・研究協議会

- ・域内の希望する高校等を対象
- ・DXハイスクールの取組事例の発表を通じて、成果を横展開
- ・採択校間での課題の共有、大学教員等の専門人材を交えた課題解決に向けた協議を実施



【実施予定案】講師料他73.9万円

1. DXハイスクール発表会の実施
 - ・12月にDXハイスクール実施校（2年目）の発表会を実施する
 - ・順位を設け、優秀な発表は、民間が行っている全国取組発表会にエントリーを行う
 - ・大学教員等の専門人材による講評を行う
 - ・DXハイスクール実施校以外の生徒・教員にも参加を呼びかける
2. DXハイスクール研究協議会を設ける
 - ・DXハイスクール校の実施状況の確認およびアドバイスを行う
 - ・採択校間の意見交換を実施する
3. 近隣府県との交流の実施
 - ・生徒及び教員が他府県のDXハイスクール実施校と交流する機会を設ける

教育委員会

- ・情報技術活用コンテスト開催
- ・生徒発表会の実施
- ・研究協議会設置



DXハイスクール校

- ・遠隔授業システムにより大学等との連携
- ・デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進
- ・情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進

和歌山県

DXハイスクールの成果共有によるデジタル人材育成と 教員の指導力向上に向けた取組

DXハイスクール取組事例発表会（実施要領2.（2）関連）

- ・和歌山県のDXハイスクール指定校による成果共有部会の設置。
 - 取組成果を共有することによって、それぞれの学校の取組を促進する。
- ・和歌山県のDXハイスクール指定校による全体発表会。
 - 県内公立学校を対象とする。
 - 有識者による助言を得て、現在の課題点やこれからの取組の方針を探る。
 - 取組の成果を共有することによって、県内のデジタル人材育成を進める

成果共有部会で採択校が共有

全体発表会で県内公立学校で共有

域内の
デジタル人材育成



相互作用

情報Ⅱ等に関する教師向け研修（実施要領2.（1）関連）

- ・情報Ⅱ等を実施する上で、必要となる教員の指導力向上を目的に、研修及び研修動画の作成を行う。
 - 全県内公立学校の教員を対象とする。
 - 理系科目等の授業の充実、文理横断、探究的な取組の充実、情報Ⅱの内容を含む職業系科目の充実等を目指す。
 - データサイエンス、生成AI、プログラミング、情報モラル等に関する内容とする。



相互作用



相互作用

情報Ⅱ等に関する生徒向け研修（実施要領2.（3）関連）

- ・生徒に向けて情報、理系科目等や文理横断、探究的な学びへの興味関心を引き出すため、研修講座の開設やスタディツアーを行う
 - 全県立学校の生徒を対象とする。
 - データサイエンス、生成AI、プログラミング、情報モラル等に関する内容の研修講座を行い、理系科目等や文理横断、探究的な学びへの興味関心を引き出す。
 - 大学や企業と連携してスタディツアーを行い、理系科目等や文理横断、探究的な学びへの興味関心を引き出す。